

愛媛県四国中央警察署協議会会議録  
(令和6年度第2回)

日時	令和6年10月10日(木曜日) 午後1時30分～午後3時15分
出席者	1 愛媛県公安委員会 委員1人 2 警察署協議会 会長以下7人 3 警察署 署長以下11人
議事概要	1 公安委員挨拶 警察署協議会の在り方等について 2 会長挨拶 (1) 各種警察活動に対する激励 (2) 活発な意見交換の依頼 3 署長挨拶 (1) 各種警察活動への協力に対する謝辞 (2) 忌憚のない意見交換の依頼 4 業務推進結果等の説明 令和6年6月から9月までの業務推進結果、同年10月から翌7年1月までの業務推進計画について、各課長が報告、説明した。 5 質疑応答・意見 (1) 委員 新任警察官が着任し、これからスキルアップに取り組んでいくとの説明があったが、民間企業等では、3か月以内に離職する若手が増加しているとの話も聞く。四国中央署もそのような傾向か。また、若手の離職防止対策等はしているか。 回答 署長 近年、四国中央署で赴任後間もなく離職した若手はいない。 当署は、署長以下、風通しの良い職場づくりに努めているほか、若手が仕事やプライベートの悩みを気軽に相談できるメンター・メンティー制度を活用し、若手のフォローアップを図っ

ている。

- (2) 委員 SNS型ロマンス詐欺への注意喚起として、「あま〜い話はようかんがえて」と記載したチラシに、羊羹を同封してスーパーの買い物客に配布した広報活動の説明があったが、とても面白い企画だと思う。このようなインパクトのある広報活動を引き続き実施してもらいたい。

## 6 諮問及び答申

諮問	答申
大規模災害への備えについて	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 地元ケーブルテレビでは、市内避難所へのフリーWi-Fiの提供や事業所向け防災告知端末の設置など、地域の防災力向上に向けた取組を自社のホームページで公開している。災害発生時、各企業が各々の立場で対応できることを調べ、防災対策等に役立ててはどうか。</li><li>○ 能登半島地震では、住民の安否を自治会の会長に聞いて確認していたとの報道に接したが、地域の人と人との結びつきはだんだん希薄になってきているのが現状で、災害発生時に自治会が十分に機能するかは疑問である。しかし、自治会の協力は必要不可欠なため、関係機関で今後の自治会の在り方を検討してはどうか。</li><li>○ 災害発生時は中学生や高校生も率先して動いてもらいたい世代である。有事の際に若者が先頭で行動できるよう、四国中央市だけでなく、関係機関も関わって、講習会を開催するのも有効ではないか。</li></ul>

- 地域警察官による巡回連絡について、警察官の数も限られる中で管轄内の全戸を回るのは簡単ではないと思うが、平素から管内住民の実態把握を推進してもらえるととても心強い。
- 災害発生時は、情報が集約される市（行政）との連携が最も重要であると思うので、普段から情報共有を含め、地震や台風など、それぞれに応じた実践的な訓練を実施してもらいたい。

## 7 公安委員講評

- (1) 活発な意見交換への評価
- (2) 各種警察活動及び警察活動への協力に対する謝辞

## 8 その他

留置施設の視察

協議会開催状況



